

木村弥生議員 国政へ！

昨年末に行われた衆議院解散総選挙！
その厳しい状況をくぐり抜け、比例区
代表北関東ブロックで、木村弥生衆議
院議員が誕生しました！



昨年12月の衆議院議員選挙で北関東比例ブロックから
初当選し、475議席の貴重な1議席をいただきました。
突然の立候補にもかかわらず、選挙期間中、坂主会長は
じめ栃木県看護連盟の皆様には暖かなご支援を賜りました。
心より御礼申し上げます。

団塊の世代が後期高齢者となる、いわゆる2025年を
目前に、看護職への期待はますます高まるばかりです。
その一方で、免許を持ちながら看護職として働いていな
い潜在看護職員数は、厚労省の調べによると約71万人。
働き続けられる職場づくりをもっと前進させなくてはな
りません。私も子育て経験者です。子育てや家庭との両
立で疲弊したり、悩んだりすることなく、生き生きと仕
事を続けられるよう、力を尽くしてまいります。

昨年、成立した医療介護総合確保促進法では、新人看
護職員の研修などが「新たな財政支援制度（基金）」の対
象になりました。今後は県単位での要望活動など、県政
への働き掛けがより重要になります。看護職の皆さまが、
政策や政治を「他人事」ではなく「自分事」として、よ
り身近に感じる時代になったと思います。その一助とし
て貢献できれば幸いです。

◆◆ 木村弥生プロフィール ◆◆

- 1965年8月11日生まれ。東京下町育ち。
- 日本看護協会政策秘書室長。衆議院議員秘書を務めた。

中堅看護師 研修会



芳賀赤十字病院
黒須しのぶ



9月16日の研修会に参加しました。今回の研修では、看護師
に求められるコミュニケーションスキルについての講義と、中堅
看護師としてのコミュニケーションの工夫について情報交換を行
いました。

講義では、常に患者さんの中に何が起きているのかを考え、
患者心理を理解することの大切さを学びました。又、私達が何気
なく使っている言葉の一つ一つ、看護師の働きかけが患者さんに
不安を与えていること、患者さんの言動には様々なサインがあり、
そのサインを受け止め対応して行かなければならないと改めて実
感しました。情報交換では、中堅看護師としての自分の立場や対
応について思い悩む者も多くいました。同じ立場の者同志が意見
交換することで互いに共感することができました。

今回の研修で学んだことを、これからの看護に生かして行こう
と思います。



光南病院
北條麻紀

私は平成26年10月8日栃木県看護連盟
会員研修（国会議事堂見学）に参加させて
頂きました。歴史のある国会議事堂内は厳
かな雰囲気包まれ、身の引き締まる思い
と共に、とても感動しました。そして、お
忙しい中、阿部衆議院議員、たかがい参議
院議員、石田参議院議員をはじめ、栃木県
選出の国会議員より、お話を伺うことが
できました。現場で感じる疑問や不安、不満
を改善するためには、議員一人の力では難
しく、私たち一人一人が声に出し、政界へ
届けるという行動が改善の道に繋がること
を改めて実感しました。

私は現在、看護連盟小山地区支部青年部
として活動させて頂いています。青年部と
して声をかけられた時は、政治についてあ
まり関心がなく、深く考えずに引き受けま
した。しかし、今回の研修を通して、自分
の役割を再認識し、若い人たちに政治に興
味をもってもらえるように頑張っていこう
と思いました。

国会見学

